

三重県紀宝町 早生「なついろ」収穫 中西和益さん

【三重・伊勢】JA

伊勢管内の紀宝町で28日、県が育成した早生品種「なついろ」の稲刈りが始まった。中西和益さん(78)は、同町大里地区の水田で、昨年より1日早く収穫作業を始めた。町内では生産者4戸が、合わせて4畝で「なついろ」を栽培する。

中西さんはこれま



県が開発した「なついろ」を刈り取る中西さん

で、「あきたこまち」を作付けしていた。今年産では高温に強く、いもち病に強い「なつ

いろ」に変更。高温などの影響はなく、順調に生育した。中西さんは「高温や水不足を心

配したが、昨年産よりもいい出来だ。品質も期待する。多くの消費者に食べて喜んでもらいたい」と話した。収穫した「なついろ」は、全てJAへ出荷する。

JA企画指導グループの山本政美グループの山本政美グループ長は「夏季の高温の影響で1等米比率が低くなっている。高温に強い、なついろの栽培面積を拡大し、1等比率向上に取り組みたい」と話した。